

会議結果報告書

- 1 定例会
- 2 開会日時 平成29年11月28日(火) 午後1時30分
- 3 閉会日時 平成29年11月28日(火) 午後2時20分
- 4 出席者 教育長 委員 4人
- 5 議決件数 2件
- 6 議決の状況

原案可決	2件	承認	0件
一部修正可決	0件	同意	0件
継続審議	0件	報告済	0件
- 7 議事録 別添のとおり

教育委員会定例会議事録

1 会議年月日 平成29年11月28日(火)

2 招集の場所 くすのきプラザ 1F 会議室

3 出席者

教育長	高杉	良知
委員	坂田	眞澄
委員	田村	雅恵
委員	小濱	樹子
委員	上之園	公子

計 5人

4 議事日程

日程第1 議事録署名委員の指名

日程第2 教育長報告

日程第3 第14号議案 府中町図書館協議会委員の委嘱及び任命について

日程第4 第15号議案 平成29年第5回府中町議会定例会に提案される教育委員会関係の議案等について

5 職務のため会議に出席した者

教育部長	奥田 米穂	教育次長	中坊 京子
総務課長	谷口 充寿	学校教育課主幹	畑尻 佳括
社会教育課長	山下 賢二	社会教育課主幹	沢元 保夫
総務課長補佐	土井 賢二	総務課主任	野田 直子

6 議事の内容

(開議 午後1時30分)

教育長 出席委員が定足数に達しておりますので、ただいまから定例教育委員会会議を開催します。

本日の議事日程は、お手元に配布しているとおりでございますが、よろしいですか。

(異議なし)

教育長 よろしいようでございますので、それでは日程第1、「議事録署名委員の指名」を行います。府中町教育委員会会議規則第18条第3項の規定により、私と小濱委員を指名することとしますがよろしいですか。

(異議なし)

教育長 ご異議ないようですので、そのようにさせていただきます。

次に、日程第2、「教育長報告」を議題といたしたいと思っておりますので、報告をいたします。

○小学校の公開研究会及び小中学校の発表会について

この10月の終わりから11月にかけて、各学校とも公開研究会とか発表会、そういったようなものが行われました。10月26日が府中小学校の公開研究会です。11月7日、府中南小学校のパブリックデーということで公開研究会です。11月20日、府中東小学校の「学びの変革」パイロット校としての公開研究会が行われ

ました。そして11月22日、府中中央小学校での公開研究会でしたけれども、ここは町指定のICT指定校ということでの発表していただきました。算数科を中心にしていただきました。

それから小中学校の発表会でいいますと、府中中央小学校の学習発表会が10月28日、府中緑ヶ丘中学校の文化祭が同じく10月28日、府中小学校の発表会が11月18日、府中北小学校が先週の25日ということでした。

研究公開、それから発表会等を見せていただいて町内の学校、本当に落ちついてきてるなと思いましたし、生徒も随分授業については前を向いて一生懸命、主体的に学んでいるなということ、そういったような印象を受けております。また発表会では、それぞれの学校の特色を出しながら子どもたちが一生懸命学習の成果を発表するぞというような思いで発表してくれているなといった姿が見えました。先生方もとても一生懸命指導していただいているなとも感じたところでもあります。

公開研究会を見ていまして、府中中学校校区がまだ来年の1月にありますけれども、そこはまだですけれども、学びの変革が少しずつ主体的な学びになるような、そういったような授業展開が少しずつでき始めてるなといったようなことを感じています。小学校では、随分授業力を先生方は高めてきてもらってるなといったようなことも思っています。

これも、後ほどまた気づき等がありましたらお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

○11月1日（水）府中中学校校舎竣工式について

それから11月1日水曜日ですが、府中中学校の校舎の竣工式をやることができました。11月1日から新しい校舎で生徒たちは勉強を始めるということであります。生徒たちには新しい校舎で本当に喜んで授業をしてると校長先生から、報告をいただきました。そういったような状況で進めていますが、給食棟はまだなので、もう少し給食棟はかかります。それから仮設校舎の撤去がまだなので、これを今後撤去してグラウンド整備をしたら一応完成です。給食は来年の1月から新たに開始であります。

それから、11月8日に地域の周辺の方に学校の案内をさせていただきました。30人ぐらい来ていただきまして、本当にありがとうございました。

ぜひ見たいとおっしゃった方もいらっしゃって、とてもじっくりと熱心に見ておられたと聞きました。

それから、府中中学校を壊す前に、これまでの卒業生の方たちがぜひ最後に見たいということで何名か校舎を見に来られたりといったようなこともありました。

○11月24日（金）府中町議会全員協議会について

それから11月24日ですけれども、町議会の全員協議会が行われました。これは臨時というか、全員臨時で議会を待たずに行っただけですけれども、議案は2つありました。1つは、府中公民館等の改築事業について。等とは、歴史民俗資料館もそこに入れて複合化した施設にしていくといったような案を今持っておりますので、そのことについて説明いたしました。これについては今日、後ほどの協議会で課長から資料をもとに説明していただこうと思っておりますので、質問とかまた御意見等もあればそのときに聞かせていただきたいと思います。

それからもう1つが、国民健康保険の県単位化についてということで、税務が説明をいたしました。この国保制度は複雑でなかなかさっと説明できないですけれども、国保制度の改革ということがあって、いわゆる運営のあり方の見直しが行われたということです。簡単に言うと、これまで市町村がこれを個別に運営していたものが都道府県が財政運営の責任を担っていくといったような形になると、都道府県が中心的な役割を果たすといったようなこととなります。

これまで構造的な何かいろいろな課題があったというようなことがありました。随分検討された中での改革だということで、国のこの制度改革を受けて県が今後中心的に役割を担っていくので、その県の動きと、それからそれを受けてまた町でどういったようなことを今後進めていくか、条例化も含めてですね。そういったようなことについての、ざっと今わかる範囲での報告があったということでもあります。

そういったような動きがあったと、この2本について全員協議会で話がありました。

○11月27日（月）提案活動について

それから昨日、11月27日ですけれども、町が県にいろいろな提案活動を行っています。その提案活動に行っていました。教育委員会関係でいうと県の教育長に持っていったんですけども、これは2本持っていきました。

1つは学校運営改善の推進についてということで、学校における業務改善加速事業、これは1年ごとの事業ですけれども本年度受けてます。緑ヶ丘中学校とそれから府中中学校ということで受けておりますけれども、この事業を引き続き来年度もぜひやっていきたいので、これは国の事業です。国の事業を町が受けてるんですけども、町が国からすぐ受けるわけにはいなくて、県が受けて県の事業として県から府中町に再委託をしてもらってます。

それを県が取らないという府中町は何もできませんので、これをぜひやりたいので引き続きやらせてほしいと、そういったようなお願いに行きました。今年の先生方の意識改革もアンケートで1回目、2回目、今2回目までやりましたので、1回目と2回目で変化が出てきてますので、成果も少しずつ上がっている状況もありますので、そういうところを少しお話しして引き続きよろしくお願ひしますと、お願ひしました。

それからもう1点は、埋蔵文化財の保護のための調査の実施について。下岡田遺跡の発掘調査、それから報告書をつくり上げているといったようなこの事業について、これは国へ要望に行きますということで、今も実は下岡田遺跡については県教委も随分協力というか指導もしっかりしてもらって、実際に発掘調査にも来てもらって随分力をかかしていただいています。そういうこともあるのでそのお礼と、今の状況でいうと掘ったけれども成果物というか思ったような遺構が出てきていないということで、なかなか下岡田遺跡が跡であるという、跡家（うまや）跡であるという確たる証拠となるものが出てこないの、これをもう少し、もし出てこなくてもよそでのいろいろな研究の成果、他地域での研究の成果とか、これまで府中町が9次にわたってずっと調査してきているその整理、こういったようなことも含めて、そこも含めて整理していくといったような方向で考えていくともう少し時間がかかるだろうということで、もしかしたら今3年でお願ひしている事業を1年延長ということも視野に入れながら進めていますと、ぜひこれについても国との調整とか県からの指導についてよろしくお願ひしますといったような中身の要望をしてみました。以上でございます。

質問といいますか、その前に研究公開とか発表会といったところに行っていたときの感想とか指導していただけるような気づきとか、何かありましたら学校へ返していきたいと思ひますのでお願ひいたします。

坂田委員

それでは、日にちを追ってちょっと長くなりますが、まず府中小学校の教育研究会ですけれども、児童が1時間の授業の中で何を学ぶかをはっきりと意識して考え、そして発言をしていました。そしてその発言を受けてさらに考えて理解するという、そういう学び方が身についたように思ひます。

それから、2点目として総合的な学習では意欲的に自分の課題を自分で解決していこうという姿勢が見られて大変良かったと思ひます。それから研究公開のあり方が良かったように思ひます。研究協議会があって、それぞれが意見を出し合って、そして分科会報告をして講師による全体指導ということで、非常に授業改善へつながるものであったのではないかなと思ひます。

それから10月28日、府中中央小学校の学習発表会。1年のみしか参加しなかったんですけども、とても児童が自信を持って歌い、そして踊り、せりふを言っていて、出入りの態度も良かったように思ひました。

その後、府中緑ヶ丘中学校文化祭も見たわけですが、生徒会執行部を中心に自分たちの力で文化祭を成功させようという取り組んでいたことが、オープニングの様子や展示物からよくわかりました。それから3年生の組曲「志」では、生徒一人一人が自分の役割を精いっぱい、いろいろな係があったわけですけれども準備、練習をし

てその成果が出ていてとても感動しました。先生たちのいろいろな支援、それから地域、保護者の支援があったからのように思います。これからもできれば3年生はその組曲をさらに進化、発展させてほしいように思います。

ちょっと課題かなというところで、開始時刻が予定より10分遅かった訳ですけども、時間設定に無理があるんだったら開始時刻を10分遅らせてはどうかと思いました。来賓の方なども来ておられましたので。それともう1点の課題として、府中中央小学校と同日となったということで、両校に子どもが在籍する保護者がいた場合には観覧にちょっと困ったのではないかなというように思うので、府中南小学校も含めて日程調整をする必要があるのかなと思いました。

11月7日、府中南小学校の教育研究会ですけれども、昨年に引き続き命を柱とした教育が進められていたことがよく理解できました。それから3年生、4年生の総合的な学習の時間では児童が自分のこととして意欲的に調べて発表し、意見を出し合い深い学びになっていました。全体を通して自分の命、人の命を守るために自分はどうあるべきか常に意識できているように思います。ぜひ中学校につなげてほしいと思いました。

それから府中小学校の学習発表会、11月18日ですが1、2年生の音楽劇でした。一人一人が自分のせりふを間違えることなく、大きくはっきりな声で頑張っていたように思います。それから3年生から6年生、総合的な学習での学びがあったわけですけども、学習の時間で学んだことが見る人に伝わるようにそれぞれが工夫していたように思います。

それから11月20日月曜日、府中東小学校の研究会ですけれども、府中中学校区の全教職員が参加しての研修ということで大変意義があるものではなかったかなと思います。東小で学んだことを各校において十分取り入れて来年度の計画に反映してほしいと思います。各校で進めているわけですけども、主体的な学びとは児童のどんな姿を、各校でしていると思うんですけれども、しっかり全教職員が意識してこんな学びが主体的な学びということ意識して進めていったらと思います。

それから、学びの変革をどういうふうに学校は進めているかを保護者へ多分伝えてと思うんですけれども、しっかりと理解してもらうことが必要のように思います。コミュニティスクールを進めていく上でも、しっかりアピールしていく必要があると思います。

それから11月22日、府中中央小学校の教育研究会ですけども、各学級全部です。電子黒板を活用した授業のようで、大変効果的で意欲的に取り組んでいたように思います。それから児童は電子黒板を操作しての説明があったわけですけども、児童もその使い方を十分理解していて、しっかり活用できていて、目標達成のための手段となって定着していることがわかりました。

ただ、気をつけなくてはいけないのは児童のアンケート調査の中に算数の問題の解き方をわかりやすく説明できるという項目が、73.4%とちょっと低いところがあったわけですけども、授業を進める中、支援を要する子ですね、電子黒板はちょっと使い方がどうかな、難しいかなという子もいると思うんですよね。その子に対して、大部分はわかっていると思うんですけども、その活用が難しい子に対して自信を持って説明できるように支援していく必要があるんじゃないかなと思いました。それからタブレットが入ってる訳ですけども、今回なかった訳ですけども、今度はそれを活用した授業をぜひ公開してほしいように思います。

それからの、指導案の中にもあったんですけども配慮を要する児童に対しての手だてが明確に示されていて、実際に授業の中でその子のそばに行き指導してる場面があったので大変良かったように思いました。

それから最後に、府中北小学校の学習発表会があった訳ですけども、総合学習の授業の中で考え、調べ、そしてその課題解決をどう自分たちが実行していくか、そういうことが、自分たちが地域のためにこうしていくんだという意欲がよく感じ取られました。発表の態度は、はっきり大きな声で相手意識を持ってできていて大変好感が持てました。最後、全校合唱。300名を超える全校児童が舞台上がって、きれいなハーモニーで声量もあり大変圧巻であり、参観者、特に地域の方の声

も聞いたんですけれども大変感動したということで、大変良かったように思います。学校と保護者、地域が一体となっている学校だなと感じました。以上です。

田村委員

たくさん、本当に学ぶことができうれしく思っています。まず府中南小学校のパブリックデーですけれども、子どもたちが本当に全身で今まで学んだことを全力で伝えたいというのがひしひしと伝わってきたので、とても感動しました。その後の安田女子大学の田中先生のお話の中で、思春期の子どもは何を考えているかという項目の中で、誰に褒められたときに一番やる気が出るかとか、自分を一番支えてくれる人は誰かというのが母になっていたので、お母さんの存在は本当に、言葉遣いとかいろいろメッセージも考えてしゃべらなければいけないんだなど、つつい家庭でもあなたメッセージに、あなたはうるさいよとか、あなたは何々しなさいとかいうような押しつけのメッセージを送ってしまうこともあるけれども、自分自身がどう思っているか、私メッセージというのを本当に発信することによって子どもが自分で考える、自己決定ができるとお聞きして、アイ・メッセージに気をつけていかねばならないなと学びました。

府中東小学校ですけれども、本当にとってもいい授業ですばらしいなと思いました。授業の後で全体の講評をされた片渕指導主事のお話の中で、子どものつぶやきを教職員も察知して、課題も自分はこう思ってたけれどもそのつぶやきによってこういうふうに変更したらいいんだなというような柔軟性も必要になってくるのかなと思いました。高校では、自分に酔って自分がひたすらしゃべる教職員の方もいらっしゃるけれども、だけどやっぱり子どもの意見とかそういうつぶやきもしっかり聞いて、子どもに目的意識とか相手意識とかをしっかり意識させるような授業展開が大事だなと、府中東小学校の授業を見て思いました。

府中中央小学校ですけれども、本当にすごいなって、ICTをここまで先生方も頑張らせてされてるんだと思いました。ご講演いただいた竹野先生のお話もうごくわかりやすく、ちょっとした工夫、黒板には枠や線を引いてみるとか、プリントを配るときは机の上のものを全部片づけてから配ってあげるとか、そういうふうなちょっとした配慮、そういうのも本当にとっても勉強になりました。

府中中央小学校の学習発表会ですけれども、私も府中緑ヶ丘中学校と重なっていたので1年生と2年生だけの参加になったんですけれども、1年生と2年生、1年違うところも本当に違うのか、1年生ももちろんすばらしかったけれども2年生、1年たつと本当に一体感も出てるし心をついにこんなに1年で成長するんだなと感じました。

府中緑ヶ丘中学校も先ほど坂田委員がおっしゃったんですけれども、10分遅れて開始になってしまって、そこに無理があるならそういう無理のない時間から始められるような感じで設定したほうがいいと思ったのと、あとは校長先生が独自の賞、黒板パフォーマンス賞、オープニングビデオ賞、ベストパフォーマンス賞とか個人賞とか自分なりの賞を生徒会の方々に承諾をとって自分の賞を発表された、こういうのもいいなと、温かい文化祭だったなと思いました。本当に教職員の方、保護者の方、生徒がみんなで作った文化祭というのがひしひしと感じられる文化祭でした。

北小は坂田委員がおっしゃったんですけれども、最後の全体合唱が教頭先生の指揮で、これが本当にすばらしくて教頭先生が指揮をされるんだと思ったけれども、本当に教頭先生が全身でみんなと一緒に頑張っているのが本当に出て、子どもたち、もちろんすばらしいけれども、教頭先生の指揮にも感動いたしました。

地域の民生委員の方だと思うけど、皆さん泣いていらっしゃって、帰るときに感動したね、感動したねと言ってみんなが涙を流されながら帰っていらっしゃったのがすごく温かいね、あの北小の発表会だったんだなと、会場は寒かったけど心はとっても温かくて帰りました。

あと府中南小学校のドリームナビ6年生で副町長の話がありまして、それを聞かせていただきました。夢について語っていただいたんですけれども、すごく印象に残ったのを皆さんにお伝えします。夢について3つおっしゃったんですけれども、

夢は人が決めるものではなくて自分が決めるもの。2番目、夢がかなった姿をイメージする。3番目が実現できるように今からいろいろな力を身につけてほしい。一日一日を大切に、また働く、いざ仕事をするときもやりがいを持って仕事をする。自分が今やってる仕事は未来の人たちの役に立つことだということ、人と人の出会いを大切に、またわくわくするものを見つけてほしいとお話になりました。ちょっと印象に残ったのでお知らせします。

あと府中緑ヶ丘中学校のPTA講演会の阿形先生も本当にとってもすばらしくて、中坊次長の絵本の読み聞かせ、じんと来て、いきなり当てられちゃったのですごいなと思ってこれも感動しました。とてもよかったです。絵本とか映画も何となく見ているけどキキはどうして飛べなくなったのかとか、キキはどうしてまた飛べるように、そこらを考えて映画を見てなくて、そういう視点で見ると映画も深いものになるんだなと思いました。また今の子どもたち、うちの子もそうだけれどもわかってほしい、でも知られたくない。助けてほしい、でも手を出してほしくない。その葛藤がすごくよくわかるな、我が子を見ててもよくわかるなと本当に思いました。最後におっしゃった誰かと一緒に幸せを感じ自分が誰かの安全基地になることが大切、自分自身安全基地になってるかなというのも振り返るいい機会になりました。

あとはきずなコンサート、府中中学校と府中緑ヶ丘中学校のコンサートも11月4日、5日とあったんですけども、ちょっと松野先生はまだ恥ずかしいのがあるのか恋ダンスを、古土井先生は最初は荻野目洋子だと思ったんだけど、実は違って平野ノラですごい、平野ノラの「しもしも」というのをされて、ここまでできるということはやはりすごいなと、松野先生もいずれはこんなになるのかなと思って聞かせていただきました。

最後に府中中学校の耐震工事で、地域の方から門は直さんのかと言われたけど、門は府中中学校のおやじの会の方がペンキできれいに塗られたことがわかったので地域の方にもそれをお伝えしようと思います。以上です。

小濱委員

まず公開研究会ですが、まず私がすごく思ったのは分科会に出られてる先生方がすごく一生懸命議論されてるなという、まさに子どもたちもグループ討論とかするんですけど、先生自らがああいうところで主体的に討論ができなければ、先生は当然授業づくりもできないと思うんですけど、すごくそこを一生懸命やられてるのはどの学校のときもそうだったんですけど、すごくそれを思いながら聞かせてもらいました。

どこの学校もすごく落ちついてるなと思ったのと、府中東小学校は特に問題を身近なテーマに設定、例えば自分の敷地の中にあるところの水生生物とか、あと校舎と何かの大きさを比べるとか、そういう身近なところのテーマ設定をされて、子どもたちの関心とかああいうものをもとに授業をつくっていかうとしてるのがよくわかるなと感じました。

府中中央小学校の電子黒板も初めてああやって使ってるのを見て、あんなふうに動かせるんだなと思ってすごくびっくりしたんですけど、やっぱりもっともっと研究して、あれだけじゃもったいないので本当にどうやって使ったらいいかをもっともっと研究したらおもしろい使い方ができるんだらうなとはすごく思いました。

あと感じたのは、今からの主体的な学びというのであれば本当に子どもたちの疑問とか関心とかから出てくるものをどれだけ引き出していけるかがすごく大切になるんだらうなと感じまして、それって幼児からでしょうけど1年生、2年生のときの小さいころからとにかくいろいろな意見を子どもたちに出してもらえるような環境を学校の教室でもつくらねばならないし、そういう先生の求めている意見でなくてもその中から、それでもちゃんと子どもの好奇心を育てる意味で大切にしていけるのはすごく授業の中でしていかなければならないことなのかなと思いました。

あとは、先ほど坂田委員も言われたんですけど府中緑ヶ丘中学校と府中中央小学校の発表会と文化祭が重なってしまったのはすごく、周りの身近な人が何でかねと言われていたので、来年度はここを気をつけていただきたいなとはすごく思いました。

つながりがあると思いました。以上です。

教育長 ありがとうございます。これはまたぜひ学校へ今のようなご意見を返していくということで、準備をお願いします。何かご質問はありますでしょうか。

(なし)

教育長 ないようですので、次に参りたいと思います。日程第3、第14号議案「府中町図書館協議会委員の委嘱及び任命について」を議題といたします。説明をお願いします。

教育部長 第14号議案ということで、府中町図書館協議会委員の委嘱及び任命について教育委員会の審議に付したいと思います。説明を社会教育課長からお願いします。

社会教育課長 府中町図書館協議会委員の任期が平成29年11月30日をもって任期満了となりまして平成29年12月1日から2年間、平成31年11月30日までとなっております。メンバーの方につきましては学識経験者で曾余田先生、社会教育関係で恵村さん、社会教育関係で清水さん。家庭教育の向上に資する活動を行う者として今岡さん。家庭教育の向上に資する活動を行う者として櫻井さん。同じく府中ひかり保育園の西田さん。学校教育の関係者として府中北小学校司書教諭の寺口さん。学校教育の関係者といたしまして府中中学校の古瀬さんを任命したいということで、お願いしたいということでもあります。

教育部長 新たな人は、何人ですか。

社会教育課長 2人です。

教育部長 あとは継続ですね。

社会教育課長 そうです。

教育長 2人というのは司書教諭のお2人ということですね。今、説明がありましたけれどもご質問はありますでしょうか。

(なし)

教育長 質問はないようであります。日程第3、第14号議案につきましては原案のとおり可決いたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(なし)

教育長 ご異議がないようでございますので、第14号議案につきましては、そのように決めます。それでは次に参ります。日程第4、第15号議案「平成29年第5回府中町議会定例会に提案される教育委員会関係の議案等について」を議題といたします。なお、本件は成案となる前の議案の内容に係るものですので、審議は非公開が適当と思われまます。また、非公開とする期間は、府中町議会に議案が提出されるまでとすることが適当と思われまます。第15号議案の議事内容について、非公開とすることに賛成の委員は挙手をお願いします。

(挙手)

教育長 全員でございますので、第15号議案につきましては非公開として、非公開期間については、議会に議案が提出されるまでといたします。それでは、説明をお願い

します。

教育部長 平成29年第5回府中町議会定例会に提案される教育委員会関係の議案等について教育委員会の審議に付したいと思います。主に補正予算の関係の説明になります。詳細は総務課長から説明いたします。

総務課長 第15号議案「平成29年第5回府中町議会定例会に提案される教育委員会関係の議案等について」御説明いたします。

これは、12月に開催されます平成29年第5回府中町議会定例会の議案として府中町長に対し教育委員会から提案を依頼しているものであり、平成29年度府中町一般会計補正予算（第4号）についての計上となります。

学校教育課の関係から御説明します。4ページをお開きください。上段からご説明します。

まず、嘱託員（教育支援員）の追加雇用に伴う補正予算です。小学校教育支援事業の嘱託職員報酬の補正となります。

特別支援学級は1学級の基準が8人と規定されております。現在、府中小学校には特別支援学級が区分や人数に応じて4学級設置されており、うち「自閉症・情緒」学級は、「1・2年生5人」と「3・4・5年生5人」の2学級編制で、支援員が1名ずつ配置されているところでございます。

そこに今回、新たに3年生と5年生の通常学級に在籍する児童2名が相談機関での診断の結果、一刻も早い転籍が必要であると勧奨され受け入れが必要となりました。これにより、1学級が7名となることから十分な支援を行うためには1名追加配置が望ましいと判断したものです。教育支援員は町内の他校にも配置されているため異動を検討しましたが、余裕がない状況でございます。このことから、早急に1名を雇用し支援を行うため報酬を60万8,000円、増額するものです。

なお共済費は当初予算により対応が可能となりますので、補正には含まれておりません。

次に、幼稚園就園奨励費補助金関係の歳入歳出予算の補正です。中段をご覧ください。

府中町では、所得状況に応じた保護者の経済的負担の軽減と公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を目的に、私立幼稚園に通う園児の保護者に「私立幼稚園就園奨励費」として、各私立幼稚園を通じて保育料及び入園料の一部を補助しております。

保護者の負担軽減を目的として今年度一部制度改正を行ったこと、利便性等が要因と思われる園児数が増加したこと、以上2点が要因となり、第1回の補助額が対前年度比で12.6%の増となったことから、残り2回も増額になると予想し、年度で不足が生ずることが見込まれるため、増額補正を行うものです。

歳入ですが、補助金総額の3分の1が国庫補助となることから、263万3,000円となります。

続いて歳出ですが、792万8,000円となります。第1回補助額実績の対前年度増減から第2回及び第3回補助額見込額を積算し、第1回補助実績額に加えたところ9,472万5,000円となるため、予算現額8,679万7,000円に対する不足額ということでございます。

続きまして、社会教育課関係に移ります。4ページ下段をご覧ください。

府中公民館等改築事業に係る歳出予算の補正です。「府中公民館等改築工事設計委託料」の予算額2,610万円は、本体部分の基本設計額のみ計上しております。

しかし、先行して実施している資料館の基本構想・展示計画策定の概要がある程度まとまってからでないと本体部分の基本設計の発注ができないため、着手は今年度中であるものの、完了は来年度へ先送りとなります。

よって先行実施の、資料館の基本構想・展示計画策定経費に要する額（委託料や検討委員の謝礼及び旅費）を除く額について、今年度中は必要なくなったことから、

1, 892万7, 000円を減額補正するものでございます。

なお、補正後の額は717万3, 000円となります。

次に債務負担行為補正です。5ページをご覧ください。

同様に、「府中公民館等改築工事設計委託料」の事項でございませう。先ほど説明を行いました歳出予算の補正と関連しております。

まず期間ですが、当初予算では平成29年度の基本設計、平成30年度の実施設計を一括契約することから平成29年度から平成30年度までとして計上していましたが、先ほど御説明したとおり1年程度の先送りが生じますので、平成29年度から平成31年度までへ変更するものでございませう。

限度額については、当初予算で計上していた実施設計の額、6, 090万円に歳出予算に計上していた基本設計の額、2, 610万円を加算し、8, 700万円へ変更するものでございませう。

以上、教育費関係の補正予算について、教育委員会として府中町長に議案としての提案を依頼することについて、教育委員会の審議に付するものでございませう。

よろしくお願ひいたします。

教 育 長 今の歳入歳出予算補正3件。それから債務負担行為の補正が1件。今度の12月議会に出すということで説明をしてもらいましたが、何かご質問はありますでしょうか。

坂田委員 はい、ちょっと。質問ですが2点。府中町議会定例会は何日から何日までなのか教えてください。もう1点は小学校教育支援事業で嘱託員ですね、この増員はいつからとなっているのか。

教育部長 まず、議会は12月15日に開会し、閉会が19日です。12月4日に常任委員会等が開かれる予定です。

教育次長 2点目のご質問の教育支援員の配置についてですが、実は11月から既に配置しております。11月からのところはこれまでの当初予算の中で流用しながらやっておりますが、不足分について補正予算で上げさせていただいております。この60万8, 000円については、10月末における報酬の予算残額に対し11月以降報酬の執行見込み額を引いたものが不足分となりますので、それが60万8, 000円です。教育支援員の予算総額に対してこれから執行される予定のものから残ったものを引いたものです。

坂田委員 ということは11月の途中から増員になってるということですか。

教育次長 はい。

坂田委員 それは11月初めからですか。途中でもそういうふうに異動があるということですか。

教育次長 途中でも異動はあります。

坂田委員 入ったということですね。

教育次長 はい。

坂田委員 それはもうすぐにやってもらって、大変いいですね。

教育次長 児童の状況によって、支援員さんも増えたということになります。

教 育 長 その他ございませうか。

田村委員　　この教育支援員さんは何か免許は、保育士さんとか何かの免許を持っておられる方ですか。

教育次長　　募集要項には保育士、幼稚園教諭、小中学校等の免許状を有する方ということで募集しております。

田村委員　　ありがとうございます。

教 育 長　　よろしいでしょうか。募集要項にそれが定めてあるからそういう方が応募してということですね。

教 育 長　　その他、公民館部分については後ほど説明がありますので、そのときに一緒に聞きます。そのほか質問はありませんか。ないようでございますので、日程第4、第15号議案については原案のとおり可決いたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(なし)

教 育 長　　ないようでございますので、第15号議案についてはそのように決めます。以上で本日の議事日程を全て終了いたしましたので、これをもって本日の会議を閉会いたします。

(閉議 午後2時20分)